

友の会（一般・学生）の受付終了について
年末年始の休館について

[お知らせ]

ピクチャレスク・ジャパン
—世界が見た明治の日本—

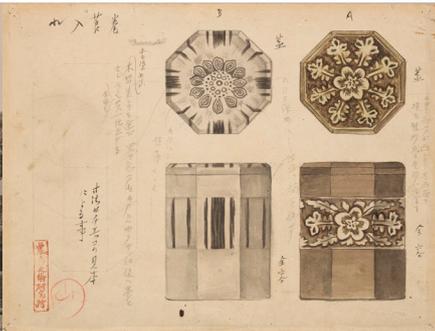
[MoMAK Films 番外編]

2020年度 第4回
コレクション展

分離派建築会 100年
建築は芸術か？

[展覧会]

Topics



3階 企画展・来月より！

分離派建築会100年 建築は芸術か？

2021年1月6日(水)～3月7日(日)



大正時代、日本の建築界に鮮烈なインパクトをもって現れた新星たちがいました。日本で最初の建築運動とされる分離派建築会です。大正9（1920）年、東京帝国大学建築学科の卒業をひかえた同期、石本喜久治、瀧澤眞弓、堀口捨己、森田慶一、矢田茂、山田守によって結成され、その後、大内秀一郎、蔵田周忠、山口文象が加わり、昭和3（1928）年まで作品展と出版活動を展開しました。

2020年で結成から100年。本展は、図面、模型、写真、映像、さらには関連する美術作品によって、変革の時代を鮮やかに駆け抜けた彼らの軌跡を振り返ります。分離派建築会が希求した建築の芸術とは何か。日本近代建築の歩みのなかで果たした彼らの役割を、新たな光のもとに明らかにしていきます。

瀧澤眞弓 《山の家》模型 1921（大正10）年
再制作：1986（昭和61）年、瀧澤眞弓監修

左から、堀口捨己 紫煙荘 1926（大正15）年『紫煙荘図集』（洪洋社）所収、東京大学図書館（蔵田文庫）
山本鼎「八角巻煙草入れ（農民美術デザイン画）」大正時代～昭和初期、上田市立美術館
山田守「東京中央電信局竣工」1925（大正14）年、写真提供：郵政博物館

友の会情報：特別解説会の実施

日時	2021年2月19日（金）18:00～
定員	先着25名
集合場所	当館1階講堂前
解説者	本橋仁（当館特定研究員・展覧会担当者）
申込方法	お電話かウェブでお申し込みいただけます。 電話：075-761-4114（京都国立近代美術館 総務係） （月曜から金曜まで、10:00～12:00 / 13:00～17:00） ウェブ：当館ウェブサイト「お問い合わせフォーム」より （件名は「友の会特別解説会申込み」としてください） ※お申込みの際、お名前・会員番号をお伝えください



4階 コレクション展

2020年度 第4回コレクション展

2020年12月24日(木)～2021年3月7日(日)

日本画セクションでは、日本画の中で建物はどのように描かれてきたのかという観点から作品を展示しています。明治時代に写実への意識がより一層高まり、日本画家は模本類の研究だけでなく屋外に出て自分が目にしたものをスケッチし、それをもとに絵を完成させるようになりました。これは、自然観察を重視したバルビゾン派の絵画が日本に紹介された時期とも重なります。さらに時代が進むにつれて、抽象表現など欧米の美術動向に呼応しつつ、日本画の表現方法も多様化していきます。田村宗立や千種掃雲、伊藤柏台、三輪昶勢等の作品を通じて、日本画の中で建物がどのように描かれてきたのか感じ取っててください。

また「エデュケーション・スタディーズ02：ツボノナカハナダロナ？」では、視覚に依らない石黒宗磨《壺「晩秋」》の鑑賞を試みます。当館では、視覚障害のある方や作家と協働して、見える・見えないに関わらず誰もが楽しめる作品鑑賞のあり方を探る「感覚をひらく—新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業」を行っています。この事業の一環として、壺のなかに入った陶片に触れたり石黒宗磨が築築した八瀬での陶片を介した対話の様子を垣間みることをとおして、《壺「晩秋」》の新たな鑑賞方法を探っていきます。

左から 三島喜美代《パッケージ78》1977-78（昭和52-53）年
伊藤柏台《木屋町夜景》1915（大正4）年
二橋美街《花鳥文様真鍮製手宮》1929（昭和4）年
北大路魯山人《呉須花入》1949（昭和24）年
石黒宗磨《壺「晩秋」》1955（昭和30）年

展示テーマ

- 1) 西洋近代美術作品選
- 2) 描かれた建物
- 3) エデュケーション・スタディーズ 02：ツボノナカハナダロナ？
- 4) 北大路魯山人、八木一夫、清水卯一—石黒宗磨とのつながりの中で—
- 5) モダニズムの日本工芸
- 6) 十亀広太郎と関西の「色彩派」
- 7) 特集：三島喜美代

友の会

December. 2020

MoMAK Films 番外編

ピクチャレスク・ジャパン —世界が見た明治の日本—

2021年2月20日(土)・21日(日)

京都国立近代美術館と国立映画アーカイブの共催定期上映会「MoMAK Films」の番外編として、英国映画協会 (BFI) 所蔵コレクションから、明治期に外国人が日本を撮影して海外に伝えた映画をデジタル修復版で紹介し、明治の日本の風景や文化が映画で世界にどのように表現されてきたのか、現在では失われた風景や文化、人々の営みを、映画上映と専門家の解説を通して探ります。映画遺産とともに多様な文化や歴史を改めて顧みる本イベントに、みなさまのご来場をお待ちしています。

- 日時 2021年2月20日(土)、21日(日) 14:00 - 16:20
 第1部: 映画上映 14:00 - 15:05 (上映後、10分間休憩)
 第2部: 講演 (ビデオ上映) 15:15-16:20
 ※開場は開映1時間前。
 ※上映と講演 (ビデオ上映) のイベント (両日とも内容は同じ) です。
- 料金 各日 520円 (オンライン事前予約制のみ)
 ※中学生以下無料
 ※心身に障がいのある方と付添者1名は無料 (要証明)。
- 定員 先着30席
 新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止のため、MoMAK Filmsではお客様に安心して映画を鑑賞していただけるよう実施形態・入場券の販売方法を変更します。

オンラインチケット予約
 はこちらから



上映作品のひとつ！
「ピクチャレスク・ジャパン」
Picturesque Japan
 (Japan Entourée / Das Malerische Japan)
 1907 (仏、パテ・フレール社) 19分・2K DCP・無声・調色
 (音) 独 (字) 日・英
 大阪の道頓堀、京都の四条大橋、奈良公園、益敷市、横浜伊勢佐木町での日露戦祝勝行列、横浜日ノ出町の葬列、傘祭りや籠守屋など、当時の日本の景観や風物、職人を捉えている。トーマス・アーマート・コレクションと同じ映像も多い。
 調査協力：平野正裕 (元横浜開港資料館・横浜市史料室員)、村上忠喜 (京都産業大学文化学部教授)、小松弘 (早稲田大学文学部教授)



お知らせ

年末年始の休館について

本年も残すところ、あとわずかとなりました。来年も京都国立近代美術館をどうぞよろしくおねがいたします。

12月21日	休館日	展示替えのため休館
—23日	休館日	
12月24日	開館日	第4回コレクション展開幕
12月25日	夜間開館	夜間開館 20時まで
—26日	夜間開館	
27日	開館日	年内最後の開館日
12月28日	休館日	年末年始の休館
—1月5日	休館日	
1月6日	開館日	分離派建築会100年 建築は芸術か? 開幕

京都国立近代美術館賛助会員
 当館は右記、賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。

お知らせ

友の会 (一般・学生) の 受付終了について

友の会 (一般・学生) は、
 2021年3月31日をもって
 入会及び更新申込みの受け付けを
 終了いたします。

同日までに入会・更新された方につきましては、有効期限内は現会員制度の特典をご利用いただけます。

今後とも皆さまに当館の活動に親しんでいただけるよう努めてまいりますので、引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

*友の会 (特別・団体) につきましては、引き続き申込みを受け付けております。

<特別会員>

木下グループ FUJIFILM

<一般会員>

ワコール 京都中央信用金庫